

C.1.2.3		データ復旧の対応範囲	データ復旧の対応範囲は、障害発生時のデータ損失防止とすること。		
C.1.2.5		バックアップ取得間隔	バックアップの取得間隔は、最低週次以上とし、最低4世代分を保持すること。（※日次バックアップ及び7世代分の保持を推奨）		
C.1.3.1		監視情報	エラー監視を行うこと。		
C.2.3.5	保守運用	OS等パッチ適用タイミング	OS等のパッチについては、緊急性の高いパッチ※は即時に適用し、それ以外は定期保守時に適用を行うことを目標とする。	OS等パッチ情報の展開とパッチ適用のポリシーに関する項目。OS等は、OS、ミドルウェア、その他のソフトウェアを指す。	
C.4.3.1	運用環境	マニュアル準備レベル	運用マニュアルについては、各製品標準のマニュアルを利用すること。		
C.4.5.1		外部システムとの接続有無	外部システムとの連携は、ベンダーによる提案事項とすること。		
C.5.2.2	サポート体制	保守契約（ソフトウェア）の種類	ソフトウェア保守契約種類は、問い合わせ対応をベンダーが実施すること。		
C.5.3.1		ライフサイクル期間	ライフサイクル期間は、5年とすること。		
C.5.9.1		定期報告会実施頻度	運用の定期報告は、仕様書本編の記載に基づき、毎月1回程度実施すること。		
C.5.9.2		報告内容のレベル	保守の定期報告は、ベンダーによる提案事項とすること。		
C.6.2.1	その他の運用管理方針	問い合わせ対応窓口の設置有無	運用保守時の問い合わせ窓口については、ベンダーの既設コールセンターを利用すること。		
D.1.1.1	移行性	移行時期	システム移行期間	既存システムから新システムへの移行期間は、3ヶ月未満とすること。	
D.1.1.2		システム停止可能日時	システム移行時のシステム停止可能日時は、1日（計画停止日を利用）とすること。		
D.1.1.3		並行稼働の有無	システム移行時の並行稼働期間は、無しとすること。		
D.3.1.1	移行対象（機器）	設備・機器の移行内容	現行システムで利用している設備・機器は、移行対象無しとする。		
D.4.1.1	移行対象（データ）	移行データ量	現行システムから新システムへ移行するデータについては、ベンダーによる提案事項とすること。		
D.5.1.1	移行計画	移行のユーザ/ベンダ作業負担	現行システムから新システムへのデータ移行作業は、ユーザとベンダーと共同で実施すること。		
E.1.1.1	セキュリティ	前提条件・制約条件	遵守すべき規程、ルール、法令、ガイドライン等の有無	遵守すべき規程、ルール、法令、ガイドライン等は、有りとする。	
E.2.1.1	セキュリティリスク分析	リスク分析範囲	セキュリティリスクの分析なしとすること。		
E.3.1.2	セキュリティ診断	Web診断実施の有無	Web診断は、実施すること。		
E.4.3.4	セキュリティリスク管理	ウイルス定義ファイル適用タイミング	システム脆弱性等に対応するためのウイルス定義ファイルについては、定義ファイルリリース時に実施すること。		
E.5.1.1	アクセス・利用制限	管理権限を持つ主体の認証	認証方法は、二段階認証または多要素認証を必須とすること。		
E.5.2.1		システム上の対策における操作制限度	操作制限は、必要最小限のプログラムの実行、コマンド※の操作、ファイルへのアクセス※のみを許可すること。		
E.6.1.1	データの秘匿	伝送データの暗号化の有無	伝送データについては、システム全体の通信経路を暗号化（SSL/TLS通信等）すること。		
E.6.1.2		蓄積データの暗号化の有無	蓄積データについては、認証情報の暗号化に加え、クラウド上のデータベース全体またはストレージ領域に対する暗号化（保存データの暗号化）を実施すること。		
E.7.1.1	不正追跡・監視	ログの取得	ログの取得については必要なログを取得すること。		
E.7.1.3		不正監視対象（装置）	不正監視対象は、重要度が高い資産を扱う範囲、あるいは、外接部分とすること。		
E.10.1.1	Web対策	セキュアコーディング、Webサーバの設定等による対策の強化	セキュアコーディング、Webサーバの設定等は、対策の強化すること。	Webアプリケーション特有の脅威、脆弱性に関する対策を実施するかを確認するための項目。Webシステムが攻撃される事例が増加しており、Webシステムを構築する際には、セキュアコーディング、Webサーバの設定等による対策の実施を検討する必要がある。	
E.10.1.2		WAF※の導入の有無	WAFの導入は、有り（必須）とすること。	Webアプリケーション特有の脅威、脆弱性に関する対策を実施するかを確認するための項目。WAF※とは、Web Application Firewallのことである。	
F.1.1.1	システム環境・エコロジー	システム構築時の制約条件	システム構築時には、条例等の制約無しとすること。		
F.1.2.1		システム運用時の制約条件	システム運用時には、制約無しとすること。		

※本資料は、地方共同法人地方公共団体情報システム機構がホームページで公開している「非機能要求グレード活用シート（地方公共団体版）業務・情報システム分類グループ④」を用いて、必要箇所を抽出の上一部編集して作成している。（https://www.j-lis.go.jp/rdd/chyousakenkyuu/cms_92978324-2.html）
※「項番」は、当該シートの内容記載しており、再附番は行ってない。